

# 塾 検

## 学習塾講師検定



### 集団指導

1 級  
2 級  
3 級

あなたは、  
このような人材として  
活躍できていますか？

「教えて帰す」ではなく  
「わからせて帰す」人材

「認めて励ます」  
「楽しみに通わせる」人材

「結果に責任を負う」人材

若手講師の自己啓発・  
能力開発に最適

すぐれた講師は  
学習塾の財産です



公益社団法人 全国学習塾協会

## 学習塾講師検定とは？

若手の学習塾講師(特に初心者)に対して、学習塾講師に求められる知識・技術・能力を体系立てて明示し、自己啓発・能力開発の一助となることを目的としています。

## 検定では何を審査するの？

- 学習塾講師には「個別生徒の状況に応じて臨機応変に対応する能力」が不可欠であり、講師の個性なども重要視されます。しかし、本検定では、学習塾講師が身につけるべき事項のうち『共通して求められる知識・技術・能力』、『客観的に判断しうる知識・技術・能力』を対象範囲に限定して審査します。
- 映像によって審査員が審査を行う検定の性質上、本検定の審査対象は『講師の行動』となります。つまり、知識・能力・技術が行動に現れていない場合は評価いたしません。講師の「意識」も行動に現れている場合のみ評価をいたします。

**講師の全能力を審査するものではありません。**

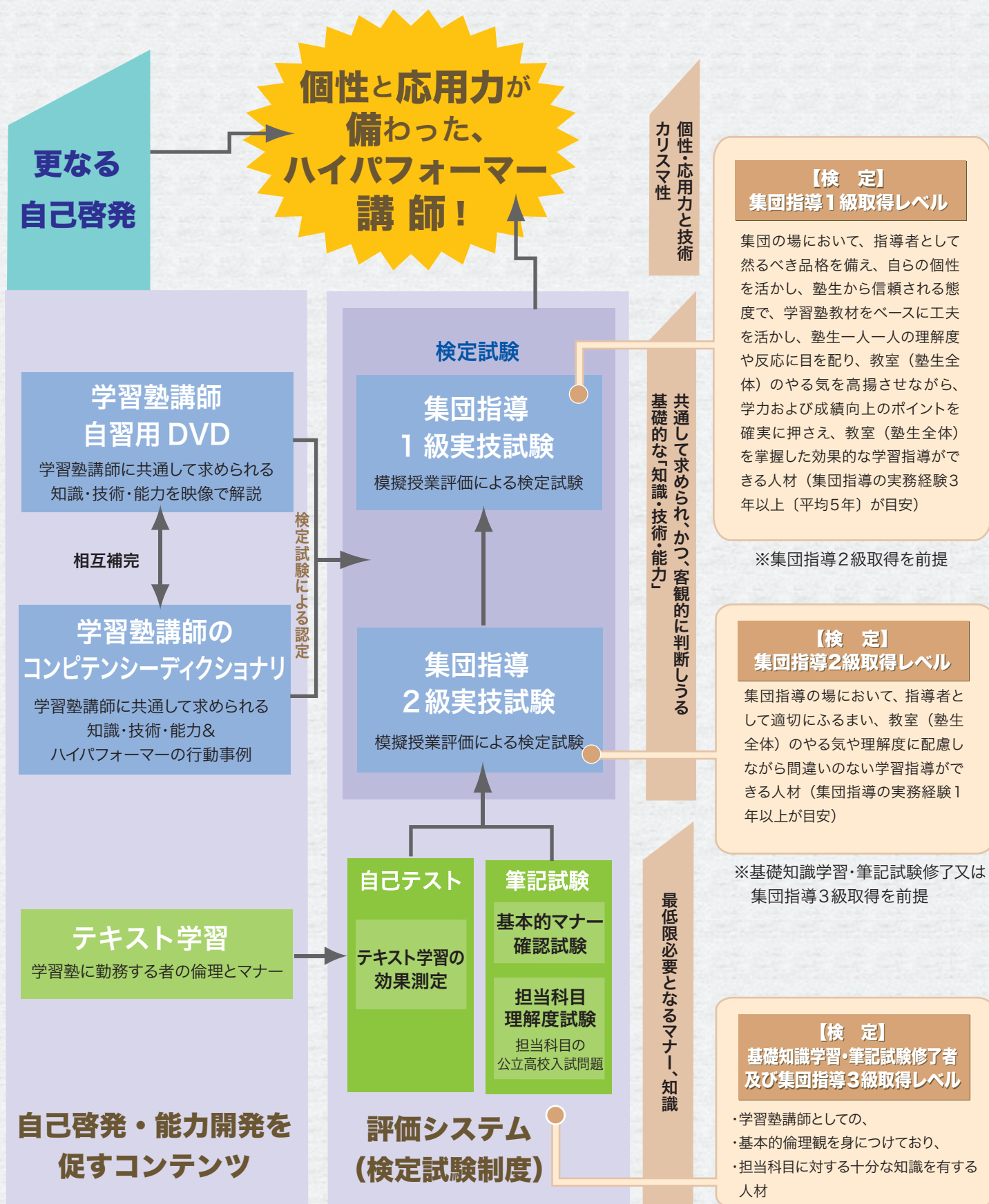


詳しくは

『学習塾講師検定制度』

<http://www.jja.or.jp> をご覧ください。

# 学習塾講師検定の体系





## 集団指導2級の到達水準

集団指導2級は、集団指導の講師をはじめとおおむね2、3年であり、実践のなかでポイントを身につけつつあるレベルにある人たちを対象としています。技能発達モデルの5段階では、ほぼ「中級者」のレベルにあたります。ただし、経験を積んでいるといっても、時間をこなす方法を身につけただけかみならず、独学で、自分の教室経験をくり返している場合もありますので、指導のポイントや原則を知識として知っていることは大切です。検定では、集団指導として多くのベテランが指摘するポイントや基本となる知識を前提として、状況に適應しているかどうかを評価します。

## 集団指導1級の水準

集団指導1級は、左記のポイントや知識を十分に理解し、実際に状況に活用できているかどうかを評価します。発達モデルでは、「独り立ち」のレベルで、経営者は彼／彼女に授業をまかせることができる存在です。年数的には、講師をはじめて3、4年を経ている人たちがその対象となりますが、単純に年数で測れないのは、ときとして、独学の場合は、独りよがりになることも少なくないためです。

## それ以上の水準

それ以上のレベル、つまり、上級者、エキスパートといった人々は、基本を十分に理解しつつも、それぞれの型を持っているのであって、それはよい意味での「個性」です。初心者用にモデル授業をしてほしいと言えば、それを実行することは容易です。実際には、生徒の状況によって柔軟に対応し、しかも生徒のやる気を高めることに成功するでしょう。こうしたレベルは検定の対象ではありません。

### ○塾講師検定システムの流れ

テキスト学習

筆記試験

DVD審査

### 初心者

非文脈的な原則(定石)の習得の段階。スキルディクショナリはそれを提供する。しかし、その原則が適用される状況についての経験がないため、個々の場面でどのようにふるまうことが期待されているか、わからない。

### 中級者

場面によって、対象によって異なる状況的な要素に目を向け、一般的なガイドラインなど(授業のデザイン、スキルディクショナリなど)を状況に適用し始めるが、まだ十分に身体化している段階ではない。

### 独り立ち

長期的目標や計画を立てて自分の活動を計画し、実行できる。実践を経験し、ポイントを身につけるだけでなく、状況において重要なポイントか否かを識別できるようになり、他者の援助がなくとも、1人前の仕事ができるようになる。

### 上級者

個々に変化する場面を、要素の集合としてより、全体的にとらえる。問題を的確に解決することができる。ものの見方は意識的であるより、現在、そこにあるものとして浮かび上がる。たくさんの引き出しがある状態である。

### エキスパート

状況を全体直感的に把握し、問題を正確にとらえる。ガイドライン、ルール、定石をこえて活動できる。上級者が意識することを全体直感的にとらえ、適切に対応する。

## ●受検資格 満18歳以上の者

### 基礎知識テキスト学習

協会が申請者に対し、学習塾講師としての基本的心得を身につけるために受講を義務づける学習です。学習塾に勤務する者の倫理とマナーに関する「テキスト学習」ならびに「テキストの効果測定としての演習テスト」より構成されています。当該演習テストに対する合否判定はありません。

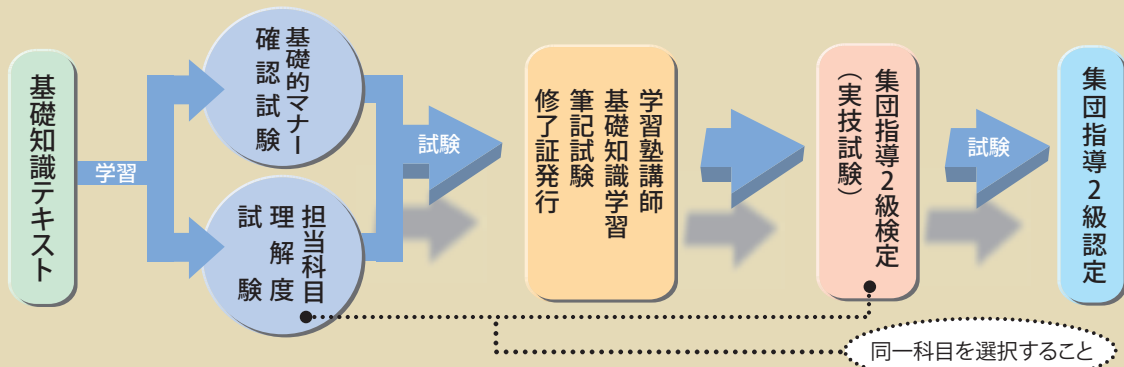
### 基礎知識筆記試験

協会が申請者に対し、学習塾講師として必要とされる基礎知識を有することを判定する筆記試験です。「基本的マナー確認試験」ならびに「担当科目理解度試験」より構成されています。合否が判定され、合格者には学習塾講師基礎知識学習・筆記試験修了証を交付します。

### 実技試験

学習塾講師基礎知識学習・筆記試験修了証の交付を受けた者に対し、映像データによって判定基準に基づき所定の要件を満たしていることを審査する試験です。合格者には「学習塾講師集団指導2級検定合格証」を発行しますとともに、集団指導1級の受検資格を取得できます。

### 学習塾講師検定集団指導2級試験の流れ

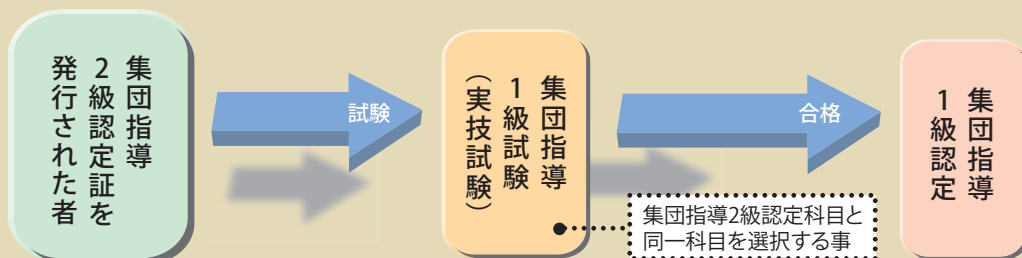


なお、右記の場合には出願時にその旨を申請すれば、認定までに一定の免除が受けられます。

**1** 「学習塾講師 集団指導2級試験」の不合格者が、次回以降、同一科目の「学習塾講師 集団指導2級」の認定を希望する場合；  
「学習塾講師 基礎知識学習・筆記試験修了証」を提示すれば「基礎知識テキスト学習」「基本的マナー確認試験」「担当科目理解度試験」は免除されます。

**2** 「学習塾講師 基礎知識学習・筆記試験修了証」の発行を受けた者が、次回以降、他の科目の「学習塾講師 集団指導2級」の認定を希望する場合；  
「学習塾講師 基礎知識学習・筆記試験修了証」を提示すれば「基礎知識テキスト学習」「基本的マナー確認試験」は免除されます。ただし、新たに認定を望む科目の「担当科目理解度試験」の受験が必要です。

### 学習塾講師検定集団指導1級試験の流れ



# Professional

魅力ある学習塾講師を目指して



●学習塾講師検定に関するお問い合わせは

**公益社団法人 全国学習塾協会**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-39-2

TEL:03-6915-2293 FAX:03-6915-2294

E-mail:info@jja.or.jp <http://www.jja.or.jp>